



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市亀田総合体育館
 試合区分：少年女子 準々決勝
 開催期日：2009年10月3日(土)
 開始時間：11:55

GAME No. 1003G2

主審：加藤 秀典
 副審：金子 慶子

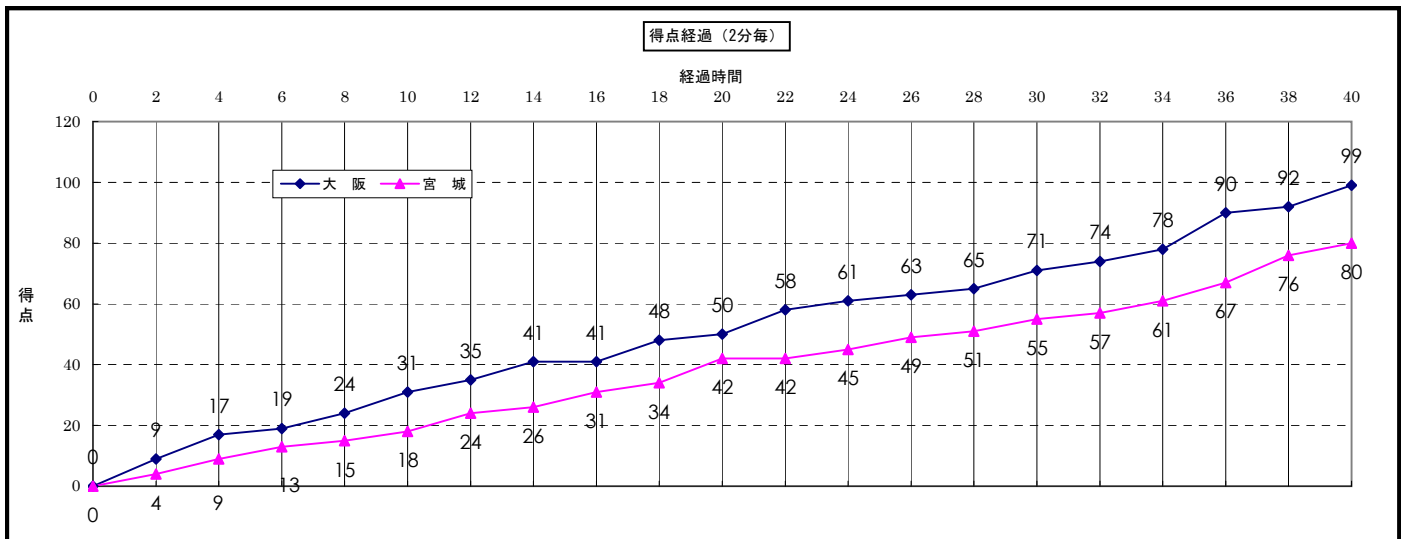
Team A	○	31 -1st- 18 19 -2nd- 24 21 -3rd- 13 28 -4th- 25	●	Team B
大阪	99		80	宮城

TEAM A		大阪					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	森 仁美	12	2	3	0	4
5		前川 千尋	0	0	0	0	1
6	*	上畑 香奈	33	3	9	6	2
7		金澤 春香	11	0	5	1	4
8	*	早川 結花	2	0	1	0	2
9		朝田 桃子	2	0	1	0	1
10		谷口 菜生	0	0	0	0	0
11		蛭尾 はるか	7	1	2	0	2
12	*	藤木 沙也香	2	0	1	0	1
13		吉川 裕子	3	1	0	0	0
14	*	大濱 杏華	16	1	6	1	4
15		坂井 郁香	11	2	2	1	2
Coach		浅貝 修二					0
TOTAL			99	10	30	9	23

TEAM B		宮城					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	青山 彩七	14	1	4	3	5
5	*	梶原 美香	10	1	3	1	0
6	*	鈴木 ひかる	4	0	2	0	1
7		岸田 麻里	0	0	0	0	0
8		田中 春奈	0	0	0	0	0
9		日退 菜波	2	0	1	0	1
10	*	猪股 優奈	14	0	4	6	2
11		磯村 鹿乃子	3	0	0	3	1
12		羽川 茜	16	0	5	6	2
13		伊藤 裕佳子	3	1	0	0	0
14	*	早坂 彰恵	7	0	3	1	1
15		韓 雨濛	7	0	3	1	2
Coach		富塚 久美子					0
TOTAL			80	3	25	21	15

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	16:11	-	-	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	8:20	17:57	23:01	34:06		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q, 両チームともハーフコートのマンツーマンでスタート。大阪は#14大濱、#4森の連続3Pで流れをつかむ。対する宮城は#4青山の速攻、#10猪股のポストプレイで対抗。中盤、大阪は#6上畑の3Pシュート、バスケットカウントシュートなどでリードを広げる。残り3分、宮城#4青山が3つ目のファールでベンチに下がると、大阪はパスカットやリバウンドから立て続けに速攻を決め1Qを30-18とリードして終わる。

2Q, 宮城は#4青山のリング下シュートや3Pシュートで追い上げを図るが、大阪も#14大濱、#4森の得点で対抗し、一進一退の攻防が続く。残り5分50秒で大阪#14大濱が3つ目のファールをおかしてベンチに退くと、宮城は#4青山のフリースローや#10猪股のジャンプシュートで点差をつめる。残り1分には、宮城#10猪股のフリースロー、#6鈴木のジャンプシュートや#12羽川のレイアップシュートが次々に決まり50-42と8点差まで追い上げて前半終了。

3Q, 大阪は#6上畑、#7が連続して得点し重ね点差を広げていく。残り6分で58-44となったところで宮城はタイムアウト。その後、宮城は#15韓にボールを集めリング下やリバウンドシュートで必死に食い下がる。大阪は、#6上畑が好調で次々とシュートを決め、67-51とさらに点差を開いていく。残り2分30秒で、宮城#4青山が5ファールで退場すると、ディフェンスを2:1:2ゾーンに変えるが、点差は縮まらず71-55で終了。

4Q, 後のない宮城はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかける。大阪は慌てることなく冷静にボールをつなぎ#11蛭尾、#6上畑が着実に得点を重ねていく。残り3分、意地を見せる宮城はフリースローを含めて連続10点を上げて追いすがすが、99-80で大阪が快勝した。

記載責任者 市川 浩之 (所属) 新潟県バスケットボール協会